

第25回広島県薬事衛生大会

中田氏に県知事表彰

広島県では、第二十五回薬事衛生大会が十二月四日午後一時から広島市中区の広島エソールでひらかれた。写真左上は受彰者の記念撮影、下は大会の様様。

大会では、薬事衛生関係の功労者に対する表彰式が行われ、配置関係では原配置医薬品連合副会長の中田勝之氏が県知事表彰の栄に浴したほか、元副会長・中川幸則氏の厚生労働大臣表彰受彰の披露もあった。

この薬事衛生大会は、県薬事衛生大会実行委員会が主催し、県配置医薬品連合会(小島恒治会長)をはじめ、(株)県薬剤師会、県登録販売者協会らが共催。当日は関係者百五十名が参加し、そのうち県



配置医薬品連合会からの参加は二十名だった。

大会は、第一部として表彰式が行われ、中田氏をはじめ、県知事表彰を受彰した六名に藤田雄山県知事から表彰授与があったほか、中田氏をはじめ、四名の叙勲並びに大臣表彰受彰者が披露された。

このあと、藤田県知事、県会議長、市長会会長、町村会会長、県医師会会長が祝辞、来賓並びに招待者の紹介、祝電披露、受彰者の謝辞、受彰者の記念撮影が順次行われ、第一部を終了。

第二部では、特別講演として、野間純広島市立

広島市民病院産婦人科部長が「最近の産婦人科医療について」と題して講演。スライドを用いながら産婦人科の現実や最近話題になっている問題点などを詳しく説明した。県知事表彰を受彰した中田氏の主な経歴はつぎのとおり。

▽中田勝之氏(75) 広島県配置医薬品連合会副会長、同資格審査委員、広島県福山市南本庄三十一番一。

昭和二十五年から医薬品配置販売業に従事し、現在に至る。その間、広島県配置医薬品連合会理事などを歴任。五十五年以上の長きにわたり業に精励し、地域住民の保健衛生に寄与。また、平成三年から十六年間、広島県配置医薬品連合会の理事を務め、

常に配置販売業を抱える問題や将来像に前向きな問題意識を持ちながら、会の発展と会員相互の親睦融和に尽力。十九年から同連合会の副会長に就き、事業計画や予算編成などを担当し、会長を補佐。また薬物乱用防止や福祉事業等に積極的に参加するとともに、業界の地位向上と社会貢献を目指すべく、会員の資質向上に意を注いでいる。これまでに、富山県薬業配置部会連合会長表彰などを受けている。

薬祖神大祭も

県配置連合会
ら14団体共催

同県ではまた薬祖神大祭を広島市の県薬剤師会館四階ホールで開催。これは、県薬剤師会が主催し、県配置医薬品連合会ら県下薬業十四団体が共催して毎年ひらいている

もの。当日は、県内の薬業団体代表者が約八十名参加し、配置関係では県配置医薬品連合会から小島会長ら正副会長、さらに、県知事表彰受彰者の中田氏、厚生相表彰受彰者の中川氏の計七名が出席した。

薬祖神大祭は、神主による儀式が行われ、各薬業団体代表者が玉串を奉奠し、神事を滞りなく終了。終了後は大祭祝宴の部へ移行し、冒頭あいさつで主催者の前田泰則県薬剤師会会長は「県内の薬業団体が一堂に会しての年に一回の大祭であり、大いに連携を深め、大いに語ってほしい」と述べた。

来賓祝辞では、石原長造県薬務課長が薬事法改正に触れながら、未だに省令が決定されていないことなどに対し、混乱しないよう求めるとともに

今後一層の協力を求めた。山本靖雄県議会議長は、乾杯の発声で祝宴へ。会場では和やかな中で盛んな意見交換や受彰者の記念撮影が行われるなど大いに盛り上がり、また会場の一角では、小島県配置医薬品連合会長と門那良三副会長が、石原県薬務課長、前田県薬剤師会長、船木県登録販売者協会会長と久しく歓談する様子が窺えた。